

## 松戸駅周辺まちづくり基本構想素案 意見募集の結果を公表します。

「松戸駅周辺まちづくり基本構想素案」の作成にあたり、市民の皆様からご意見を募集したところ 11 名の方からご意見をいただきました。ご意見の提出ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめたのでお知らせいたします。

### 意見公募の概要

- 1 意見募集期間 平成 26 年 10 月 10 日（金）～平成 26 年 11 月 10 日（月）
- 2 意見提出者 11 名
- 3 意見総件数 25 件
- 4 意見取り下げ 0 件
- 5 回答数 25 件
- 6 意見内容および回答 下記の通り

No.	項・項目	意見の趣旨	市の考え方	修正の有無
1	基本構想の位置づけ	部分最適計画(駅周辺)が、全体計画(松戸市全体)に悪影響を及ぼすことを危惧するので、『松戸市公共施設再編整備』、『松戸市市民センター再整備基本計画』、『松戸市図書館整備計画』などの松戸市全体の計画との整合を図りながら進めて欲しい。	他部門の計画と整合を図ることは重要であると認識しており、基本構想の策定においても留意しながら進めてまいりました。なお、今後個別事業の計画を作成する中でも連携を図りながら進めてまいります。	無
2	P01 3. 策定までの流れ	基本構想案から基本構想に推移するとき、関係者から「市民」が消えている。 パブリックコメントで代用するなら、地元団体もパブリックコメントの対象にし、地元団体の声も他市民の評価を受けるべきと考える。	市民の皆様のご意見はパブリックコメントを通じて反映させたいと考えております。表現がわかりづらかったため、策定までの流れに「市民」を追加いたしました。  パブリックコメントは、広く市民のみなさまに政策案を公表し、いただいた意見を的確に政策に反映し、意見に対する市の考え方を示すことで、政策を策定する上での説明責任を果たすことと、行政運営の透明性の向上を図ることを目的として実施するものです。なお、協	有

			働のまちづくりを進める上で大きな役割を担っていただく地元組織からの意見が必要になると考えております。	
3	P01(全体) 3.策定までの流れ	行政の総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の順に進められるはずだが、基本構想決定前に、基本計画の作成を外部委託し、その両方が H26 年 3 月で納期というのは、あまりにも議会や市民を無視していることにならないか。	今年度の委託は、特に計画策定の急がれる箇所について、まちづくり委員会での調査審議を進めていただくために行うものでございますので、ご理解をお願いします。	無
4	P05 コンセプトと将来像	「美 (Be) ルネッサンス」というコンセプトは良くない。ルネッサンスは「再生」「復活」を意味するフランス語で、腐敗した街を復興するイメージを感じる。松戸市民が誇りを持って使える言葉をもう一度考え直したほうがいい。また、今の松戸の良さを否定する人に街を任せたくない。	コンセプトは、まちづくり委員会での審議結果を経て修正いたしました。 なお、日本語におけるルネッサンスという言葉は必ずしも悪いイメージを表す言葉ではないと考えておりますので、ご理解をお願いします。	有
5		「コンセプトと将来像」には良いことがたくさん書かれているが、その後のページで肝心のソフト面がないため、事業(施策)によってなぜ将来像が実現できるのか理解できない。	基本構想素案はハード面中心の記載であったため、新たに「松戸駅周辺のソフト展開」という項目を作成するとともに、ゾーン別のページでもソフト面の記載を増やしました。	有
6	P06 ゾーンにとらわれない取り組み	松戸駅の改築にあたって、西船橋や品川のような駅中のショッピングモールはやめるよう市として強く JR に働きかけてほしい。(JR は儲かってもまちのためにならないため。) 駅構内に広いスペースを作るのであれば、図書館、美術館、商業施設であれば、美術作品を販売するギャラリー、あるいは大きな CD ショップを提案して欲しい。	松戸駅改良は、改札内スペース拡大による混雑緩和とバリアフリー施設整備を目的としており、新たに改札内に商業施設を作るものではないと JR から伺っております。 なお、駅ビルにつきましては、改札の外(現在の東西自由通路の南側)に建設すると伺っております。	無
7		駅を中心として、歴史や自然・大学・子育て・生涯学習などの拠点を形成し、そこまでの道の沿道を豊かにし、人の流れを生み出すべき。	基本構想は回遊性の記述が少なかったため記述を追加いたしました。 また、骨格的な道路を形成す	有

		<p>また、柱としての道が一本あった上で、そこから枝分かれするように色んな道を形成できると良いと思う。</p>	<p>ることは重要であると認識しており、基本構想においてもシンボル軸として考え方を整理しております。</p>	
8		<p>基本構想における「市街地の賑わい」と「歴史的建造物の景観」は相反し、矛盾をしていないか。</p> <p>「水・歴史的資源」では、「歴史的建造物を交流・観光スポットとして育成」といいながら、歴史的建造物を含む「商業・業務ゾーン」や「都心居住ゾーン」では、共同化という名で中高層建物を推進しようとしているが、中高層ビルに囲まれた「広大な敷地を持たない歴史的建造物」に誰が観光的価値を見出すであろうか。</p> <p>他地区の美観エリアは、商業エリアや居住エリアとは重なっていない。また美観地区内の商業施設や住宅は、歴史的景観を重視したつくりになっている。</p> <p>本基本構想素案が、論理的に成立するか否かを、松戸駅周辺まちづくり委員会で十二分に検討されることを希望する。</p>	<p>個別事業の計画を作成する際には、市街地の賑わいと歴史的建造物がつながる景観づくりができるよう十分留意しながら進めてまいりたいと考えております。</p>	無
9		<p>松戸・成田空港間の直通とは一体何か？新京成は快速もないのに時間のかかる直通など必要なのか？それより鉄道といえば半蔵門線の整備はどうなったのか？</p>	<p>直通運転実現により市内及び周辺地域の利便性向上のため、鉄道事業者へ要請を行いたいと考えておりましたが、協議の結果、実現性が薄れたため削除いたしました。</p> <p>地下鉄11号線延伸は、実現するための諸条件について、調査研究を継続しております。</p>	有
10	P.07 新拠点ゾーン	<p>国道6号線に近いのにその恩恵がないので、新拠点ゾーン及び松戸駅に向かう道の整備が必須である。</p>	<p>国道6号線からのアクセスは重要であると考えており、基本構想でも6号線からのアクセスルートの整備を記載しております。</p>	無

11		現在の相模台にはコンビニすらないので、新拠点として開発するのであれば、商業施設にも力を入れて欲しい。また、6号線のあたりも閑散としているので、改善して欲しい。	新拠点ゾーンは魅力ある拠点形成を目指してまいりたいと考えております。 また、周辺部も新拠点ゾーンの開発の波及効果が生じると考えております。	無
12		プロレベルが作品を発表できる美術館がほしい。また、そこでは美術作品を販売できるようにしてほしい。現在美術品を販売できる場所は少ないため、公的な施設で作品の売買ができるようになれば、全国的なアピールとなり、市民にとってもよいはずである。	個別事業の計画を作成する際にはいただいたご意見を参考にしながら進めてまいります。	無
13		「松戸中央公園の再整備」は、南側にある相模台公園との一体化も検討しては。素案には考慮すべき事項として、相模台公園の移設が挙げられているが、現在法務局・検察のある場所しか移設先が無さそうなので、移設してもアクセスの悪さは大きく改善しないように思う。	相模台公園は、戸定邸の北側の駐車場として利用されている土地に機能を移し、戸定邸と一体となった公園整備を行いたいと考えております。	無
14		松戸市には美術を製作する人が多く、美術館を求める声も多いので、新拠点ゾーンは、美術館等を含む文化的な香りの高い地域にしてもらいたい。	多機能拠点の機能に新たに文化の記載をいたしました。美術館については No.12 参照)	有
15	P.08 商業・業務 ゾーン	松戸駅の東口（特に南側）は道が狭すぎてイメージが悪いので、商業施設の充実・歩道橋の拡張・駅ビルを経由しての南出入口の新設などをするべきである。土地がないなら、地下空間を有効活用して商業施設を作り、且つ人の流れを生み出すべき。	東口を含め駅周辺は中心商業地としての賑わいを高める必要があり、基本構想においても「商業の集積・魅力向上」「デッキ網の強化」「駅ビル南側の新たな東西自由通路の整備」等の方針を記載しております。 地下空間については、松戸駅は地下鉄が乗り入れていない・橋上駅であるため地下とのレベル差があるなどの理由から、今以上の地下空間の活用は費用対効果が低く、課題が多いと考えております。	無

16		<p>駐輪場が不足しているのので、地下をいかす等して拡充して欲しい。（間隔を広げるなど機能的拡充も含む。）</p> <p>また、現在50ccに限定しているバイク置き場ですが、125ccの原付の駐車を可能として欲しい。</p>	<p>駐輪場は必要であると考えており、基本構想にも記載をしております。</p> <p>なお、125ccのバイクは、相模台第三自転車等駐車場などに置くことが可能です。</p>	無
17		<p>駅改良や常磐線東京乗り入れなどで、まちに人を呼び込むチャンスなのに、まちの魅力が不足している。</p> <p>駅前なのに、マンションやアパート、駐車場などが多い一方で、商店が少ない（特に東口）。また、道が狭い上に路上駐車や放置自転車駐輪が多く歩行者空間すら十分に確保されていない。</p> <p>なので、放置自転車対策を拡充すべき。また、人の流れを生み出すために、P.10にも記載されているが、西口も東口もデッキを拡張しビルなど接続させるべき（特に伊勢丹通り）。また、地上がダメなら地下でも良いと思う。</p> <p>次に、松戸駅の駅周辺（特に南側）で魅力ある商店を増やすべき。また、それに加えて、南側へのアクセスを良くするためにも駅ビル工事と合わせて駅に南口改札を作るべき。</p>	<p>基本構想は、まちの様々な課題を克服し、魅力を高めるために策定するものでございます。</p> <p>放置自転車対策、デッキ網の拡充は重要であると認識しており、基本構想にも記載をしております。</p> <p>また、商業自体の魅力向上については記載が不足しておりましたので、新しく記載を追加いたしました。</p> <p>なお、駅南側については、東西自由通路の整備を基本構想にも記載しております。</p> <p>（地下空間についてはNo.15参照）</p>	有
18	P10 シンボル軸	<p>松戸駅西口から旧水戸街道と交差する周辺には市民劇場や、ギャラリー宇、席亭宇、MADシティの拠点があり、うまく組み合わせればアート・音楽イベントが可能である。これが継続発展するためには、シンボル軸がアートの雰囲気を持つものになると良い。美術、工芸、ファッション関係のショップがこの通りに加われば、アート散歩ができるエリアとして十分発信力を持てるのではないだろうか。</p>	<p>「松戸駅周辺のソフト展開」という項目を新たに作り、文化芸術活動の促進についての記載を追加いたしました。</p>	有
19	P11 5.水・歴史資源	<p>水陸両用バスは地理的に墨田区と競合するが、墨田区は、東京スカイツリーというビックネームを持ち、風景も多岐にわたり</p>	<p>見た目にインパクトの強い水陸両用バスを運行することで松戸の資源である江戸川を</p>	無

		<p>交通の便もよいので、競争に勝てず、水陸両用バス事業は一過性になると考える。</p> <p>周辺整備も含め、税金の投入には強く反対する。</p>	<p>活かし、さらに矢切の渡し周辺に観光拠点を整備し、観光をアピールしたいと考えております。なお、水陸両用バスは民間事業者による運行を想定しております。</p>	
20		<p>戸定邸までの看板や案内図を作ってしっかりと歩道などの整備された戸定邸までの道路を作るべき。</p>	<p>戸定邸と駅周辺が連携を図れるよう、個別事業の計画を作成する際には、いただいたご意見を参考にしながら進めてまいります。</p>	無
21	P12 6.短・中期的取り組み整理	<p>地元・民間が主体に進めるものの中に、「共同化の促進」や「住宅供給の促進」があるが、これが実現しないと、行政が行うハード面の事業は全く投資効果の無いものとなる。（税金の無駄使いになる）</p> <p>しかし、地元の保守性が原因で、デベロッパーは他地域の方が進出しやすく、わざわざ進出したいと思う地域となっていない。このような状況で、周辺地域の真似をしても意味はないので、松戸市の独自性を活かしたことをすべきである。（高齢者や子育て世代に焦点をあてる、ICTを徹底活用したビジネスモデルの構築など）</p> <p>「松戸市商工業等基本方針」の基本戦略Ⅰ・Ⅱに立ち戻り、ハード面中心ではなく、ソフト面での充実を地元を求めるべき。地元が、熱心に改革を図り、商店街の活性化を行ない、効果が確認されたのちに、ハード面を検討すればよい。</p>	<p>ソフト面は重要であると認識しており、地元・民間・行政が連携して進めるものとして記載を追加いたしました。</p> <p>基本構想策定により、民間が投資しやすい環境を形成したいと考えております。</p>	有
22	全般	<p>基本構想素案説明会で、財政目途については、今後の検討に拠ると語られていたが、「説明会で基本的な市民の合意があった」という論旨で今後、進行しないか懸念している。将来に負債を残さないことがもっとも大切である。</p> <p>予算組みが出来ていない時点での計画は発表すべきではない。予算組みも出来ていな</p>	<p>素案説明会は、行政としての説明責任をはたすとともに、素案に対する意見を吸い上げることを目的として実施したものですので、今後も必要に応じて意見を聞く場を設けたいと考えております。</p> <p>また、基本構想はまちづくり</p>	無

		<p>いのに計画だけ発表するのは、将来に借金すればという気持ちが奥底にあるからの行為では。「財源を確保できない場合は断念する、あるいはこういった優先順位で進行する」のかと言う事を明確にすべき。</p> <p>今後、オリンピックに向けた東京の基盤整備だけでなく、東北の復興も急務であり、人手が取られるとともに建築費が高騰すると予測される。これ自体は悪いことではないが、これらが理由で建物の耐震性等の堅実性が確保されるか懸念する。</p>	<p>の指針であり、策定の目的は「まちづくりを推進するための将来ビジョンの共有」と「総合的な計画に基づく街づくりの実現」でございます。事業費等の財政的裏付けにつきましては、まちづくり委員会で審議をしながら個別計画で検討してまいりたいと考えております。</p>	
23		<p>松戸の人口は東京に勤務する人に支えられているが、流出するとすれば駅周辺が開発されていないからではなく、開発によって家賃や物価が上がり、住みにくくなるためである。今住んでいる人に住みにくいまちにしないようにしてほしい。</p>	<p>松戸駅周辺は中心市街地であり、松戸駅周辺の活性化とイメージ向上が、松戸市に住みたい・住み続けたいと思っていたために重要であると考えております。</p>	無
24		<p>再開発で松戸駅周辺がまた昔のように賑やかになるのは嬉しいが、再開発のようにエネルギー多消費型モデルはどうしても CO2 排出量増加にならざるを得なく、地球環境を悪化させるのではないか。</p> <p>松戸市の将来のために再開発をするのを否定するものではないが、できるだけ省エネルギーを図る計画にしてほしい。</p> <p>ソフト面での配慮・弱者にやさしい環境などが並んでいるが、地球環境に配慮（CO2 削減・省エネルギー）といったキーワードがないのが気になる。地域冷暖房システム等の採用で地域全体の省エネルギーを図り、地球環境にも配慮している姿勢を打ち出してほしい。</p>	<p>地球環境への配慮は重要な要素であるため、基本構想でも幅広く読めるような記述に修正いたしました。</p> <p>なお、再開発は都市機能の集約化による公共交通機関の利用促進や、空地の創出による緑の増加など環境に寄与する面もあります。また、再開発を期にエネルギー効率の良い供給システムを導入した事例も多数ありますので、これらを適切に誘導しながら進めたいと考えております。</p>	有
25		<p>「街の魅力を高めることで、人を呼び込み、活気や賑わいを取り戻していくことが求められている。」のは、賛成である。</p> <p>しかし、基本構想策定案は都市機能の更新案に過ぎず、上記とは程遠い案になっている。</p>	<p>ご意見をいただきましたとおり、本市の中心市街地である松戸駅周辺の活性化が必要であると認識しておりますので、松戸駅周辺基本構想の策定に着手いたしました。</p>	無

	<p>国の機関は去り、特急も1本しか止まらなくなり、映画館も無い市で、若い者は去り・老人化している。この現状を理解する事が大事であり、スタートだと思う。</p> <p>若い世代の人が住みたくなる街の候補になるような抜本的な更新案を策定しなければ、国の機関や UR 都市機構、有名大学、民間不動産会社・商事会社などの民間企業などが参加したいと思わない。この案では JR ですら駅舎改良事業に参加しようとは思わない。</p> <p>せめて国から特区を認めさせ、電車の新線を引く位の構想は出来ないのか。柏市がエネルギー特区の申請を出した書類すら市長・関係部署で書ける人材はいないのか。市民からの有能な人材を活用することはできないか。</p> <p>この構想では没落・衰退の一途を辿る事目に見える。</p> <p>魅力的な街づくりを推進するため有能な市民を活用し、市長が先頭に立って作成して頂きたい。自分達だけではなく多くの力を結集してほしい。</p>	<p>まちづくりについては国の様々な支援制度がございますので、松戸駅周辺に相応しい制度を選定して活用してまいりたいと考えております。</p> <p>有能な人材の活用については、学識経験者、地元や市民の代表、関係機関などから構成される松戸駅周辺まちづくり委員会を立ち上げ、基本構想について調査・審議していただいております。</p>	
--	--	--	--